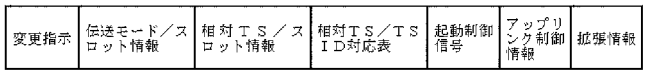
1101	セグメント数13
1110	未定義
1111	未使用の階層

別記第10　連結送信位相補正量

値	意　味
000	－1／8×2π
001	－2／8×2π
010	－3／8×2π
011	－4／8×2π
100	－5／8×2π
101	－6／8×2π
110	－7／8×2π
111	位相補正なし

別表第二号　標準方式第５章第２節及び第６章第３節に規定するデジタル放送に関するＴＭＣＣ情報の構成



注１　変更指示は、ＴＭＣＣ情報の内容に変更が生じるごとに１ずつ加算されるものとし、その値が‘11111’となった場合は、‘00000’に戻るものとする。

２　伝送モード／スロット情報は、伝送主信号に対して誤り訂正内符号化した信号の変調方式、誤り訂正内符号の符号化率の組み合わせ及び使用スロット数を示すものとし、その構成は別記第１に示すとおりとする。

３　相対ＴＳ／スロット情報は、48スロット（無効スロットを含む。）に割り当てられる相対ＴＳ番号を伝送する領域とし、その構成は別記第２に示すとおりとする。

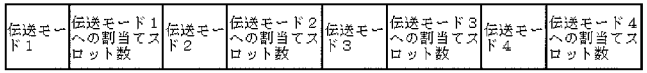
４　相対ＴＳ／ＴＳ　ＩＤ対応表は、符号化信号を識別するためのトランスポートストリーム識別子（以下「ＴＳ　ＩＤ」という。）と同一周波数において複数のＴＳを効率的に伝送するための相対ＴＳ番号との対応関係を示す領域とし、その構成は別記第３に示すとおりとする。

５　起動制御信号は、緊急警報信号を伝送するものとし、受信機の起動制御を行う場合には‘１’とし、それ以外の場合には‘０’とする。

６　アップリンク制御情報は、地球局の切替制御に使用することができるものとする。

７　拡張情報の構成は、別記第４に示すとおりとする。

別記第１　伝送モード／スロット情報の構成



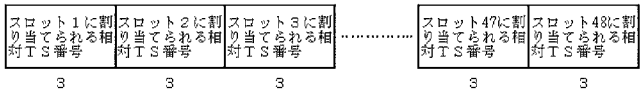
注１　伝送モードは次表のとおり変調方式と誤り訂正内符号の符号化率の組合せを示すものとし、変調方式の位相数が高いもの（変調方式が同じ場合は誤り訂正内符号の符号化率が高いもの）から順に伝送モード１、伝送モード２、伝送モード３、伝送モード４に割り当てることとする。

値	変調方式と誤り訂正内符号の符号化率の組合せ
0000	未定義
0001	ＢＰＳＫ（１／２）
0010	ＱＰＳＫ（１／２）
0011	ＱＰＳＫ（２／３）
0100	ＱＰＳＫ（３／４）
0101	ＱＰＳＫ（５／６）
0110	ＱＰＳＫ（７／８）
0111	ＴＣ８ＰＳＫ（２／３）
1000―1110	未定義
1111	割当て方式なし

２　同時に使用する変調方式と誤り訂正内符号の符号化率の組合せが４に満たない場合には、割当てのない伝送モードの値を‘1111’とし、その割当てスロット数を‘000000’とする。

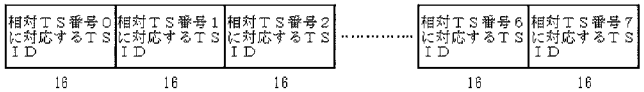
３　各伝送モードを割り当てるスロット数の合計は、48とする。

別記第２　相対ＴＳ／スロット情報の構成

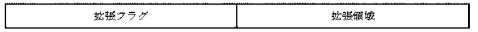


注　相対ＴＳ番号は、０から７とする。

別記第３　相対ＴＳ／ＴＳ　ＩＤ対応表の構成



別記第４　拡張情報の構成



注１　ＴＭＣＣ情報を拡張する場合は、拡張フラグを‘１’とし、その後ろに続く拡張領域を有効とする。

２　拡張フラグが‘０’の場合には、拡張領域の61ビット全てを‘１’とする。